

# 愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業報告

社会福祉法人 西予総合福祉会

特別養護老人ホーム あけはま荘

ノーリフティングケア委員会

# 特別養護老人ホームあけはま荘

【設立】 昭和51年4月（公営）

平成21年4月民営化し西予総合福祉会運営開始

所在地	西予市 明浜町
入所定員	85床
ショートステイ	5床
内訳	多床室（4人） 20室 多床室（3人） 1室 多床室（2人） 1室 個室6室 （ショートステイ5名 空床利用含む）
平均介護度	4.7



※ 発表内は敬称を控え「利用者」表記とします。

# ノーリフティングケアに応募した理由 (あけはま荘の課題)

- ▶ 腰痛や身体的負担を訴える職員の増加。
- ▶ 力任せの介護による利用者負担（心身両面）発生の気づき。
- ▶ 「二人介助」の追放。
- ▶ 福祉用具を使用しない風土の改善。
- ▶ 施設内における業務改善体制の確立。（現状満足の打破）
- ▶ 福祉用具への理解度アップ。
- ▶ 利用者に適した福祉用具選択の知識取得のため。等々...

## まず取り組む前に行ったこと！

- ▶ ノーリフティング委員会の立ち上げ（今年度より）
- ▶ 実施前説明会への参加（岩本・井上）



- ▶ 導入前アンケート・要介護者別リスク見積もり・優先度チェックリスト等の作成

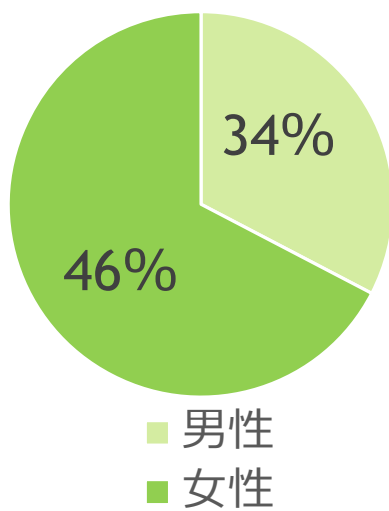


- ▶ 毎月の荘内ノーリフティングケア委員会の実施（取り組み計画の策定）

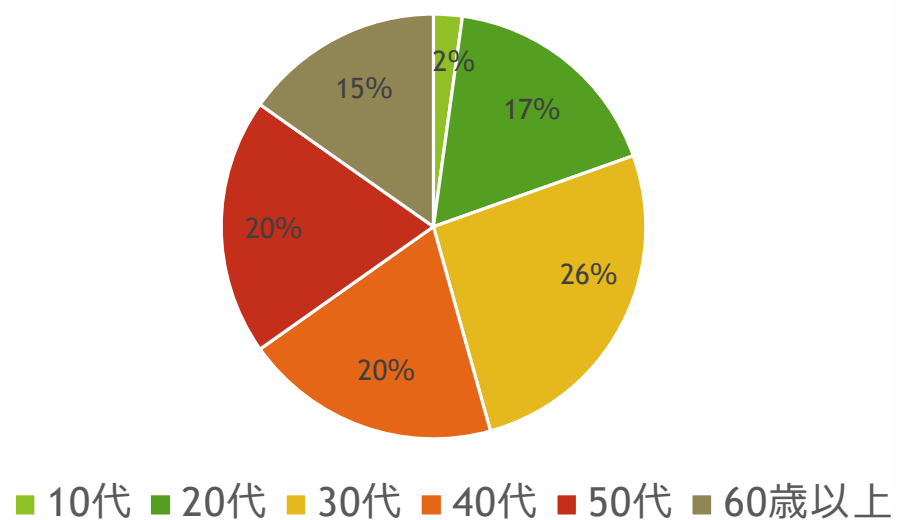
# 導入前アンケート①

～あけはま荘職員の現状～

性別

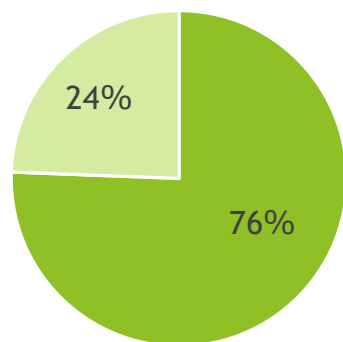


年齢



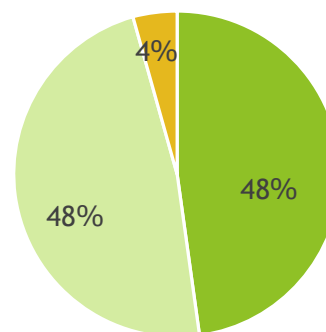
## 導入前アンケート②

腰痛はありますか？



■ はい ■ いいえ

力任せ（持ち上げ・引きずり）  
の介護になっていませんか？



■ ほとんどがそう ■ 一部あり ■ ほとんどない



# 取り組み計画の策定

No	課題	長期目標	期間	短期目標	期間	具体的内容
1	職員のノーリフティングケアに対する意識を高めたい。	全職員がノーリフティングケアをスタンダードなものにする。	6か月	全職員がノーリフティングケアのメリットを知る。	1か月	<ol style="list-style-type: none"> <li>勉強会の開催 ①議題：ノーリフティングケアとは R3.7.27 19:00~20:00</li> <li>法人内ノーリフティングケア推進会議への参加 毎月 第4木曜日</li> <li>荘内ノーリフティングケア推進会議の開催・水平展開 毎月開催</li> <li>各ユニット会での執着状況把握 毎月開催</li> </ol>
2	心身ともに健康な状態で仕事に取り組みたい。	全職員が心も体も健康な状態で仕事ができる。	6か月	仕事の負担を減らすことができる。	2か月	<ol style="list-style-type: none"> <li>アンケート実施し腰痛の状況把握</li> <li>福祉用具を購入・使用する 双方にとって安心で安全、適切な介護ができる</li> <li>ノーリフティングケア中間発表（執着状況）・意見交換会の実施 9月~10月 全職員対象</li> </ol>
3	安全な移乗介助方法がわからない。	双方にとって安心で安全な移乗介助ができる。	6か月	福祉用具の使用方法や使用手順が明確にわかる。	2か月	<ol style="list-style-type: none"> <li>スライディングボード・スライディングシート・スピラデュ使用时について個々に応じた手順書を作成しファイリングする。</li> <li>ノーリフティング宣言ポスターの掲示をし、職員個々の意識を高める。</li> <li>動きやすい服装・身体の使い方を記したパンフレット作製</li> </ol>



## 取り組み①-①

あけはま荘 ノーリフティングケア

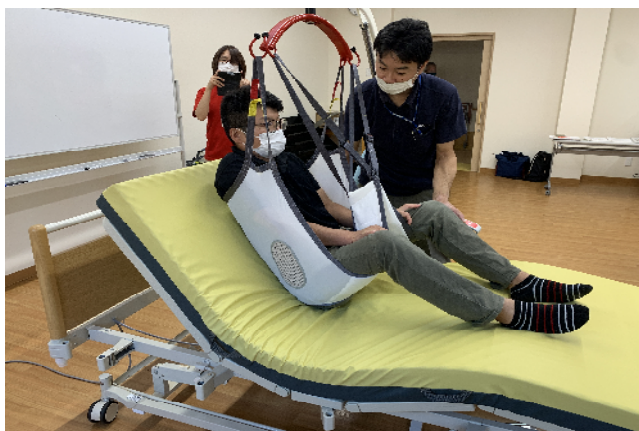
勉強会の開催 (R3.7.27 19:00~20:00)



なぜ今ノーリフティングケアが必要であるのか？  
ノーリフティングケアに取り組むうえでどのようなメリットがあるのか？  
など、職員の意識を統一する事を目標とし、**全職員**を対象に勉強会を実施しました。

## 取り組み①-②

### 法人内ノーリフティングケア委員会 “ノーリフトLABO”への参加



- ▶ 今年度より法人内老人事業部に立ち上げた委員会で参加者は特養3施設の有志。施設毎の進捗状況や問題点を発表・相談しあうことで刺激を起しノーリフティングケアの早期定着を目的に設置した寄合い。

## 取り組み①-③

### あけはま荘ノーリフティングケア委員会の開催 (毎月開催)



ノーリフティングケアを行ううえで、各ユニットの進捗状況や新たな問題点を話し合う。

# 研修会の様子



# 福祉用具導入に向けてデモ機のレンタル



メーカーさんから  
スカイリフト  
操作説明の様子



メーカーさんから  
床走行式リフト  
操作説明の様子



## 取り組み②-① 福祉用具の導入

フレックスボードを使用しての  
利用者様毎の移乗マニュアル手順書です



○○○ ○○様 移乗マニュアル

ベッド ⇄ リクライニング

①必ず職員二人で介助をしましょう



- 手順1・ベッド・ストレッチャーの高さと形状（角度）を合わせる。
  - 手順2・リクライニングのブレーキがかかっているか確認する。
  - 手順3・利用者さんを側臥位にし、フレックスボードを敷きこむ。
  - 手順4・腰をしっかり下ろし、足を開く。支持面積をしっかり確保する。  
（少ない力で移乗ができる）
  - 手順5・二人で声を掛けながら、移乗方向へスライドする。
  - 手順6・利用者さんを側臥位にし、ボードを抜き取る。
  - 手順7・利用者さんの姿勢の補正を行う。
- 上記の手順を必ず行ってください。**

## 取り組み②-① 福祉用具の導入

操作する職員が困らないように操作方法を分かり易く明記したものをリフトに張り付けています。



### ↑ 入て仔リフト使用マニュアル ～ベッドから車椅子編～

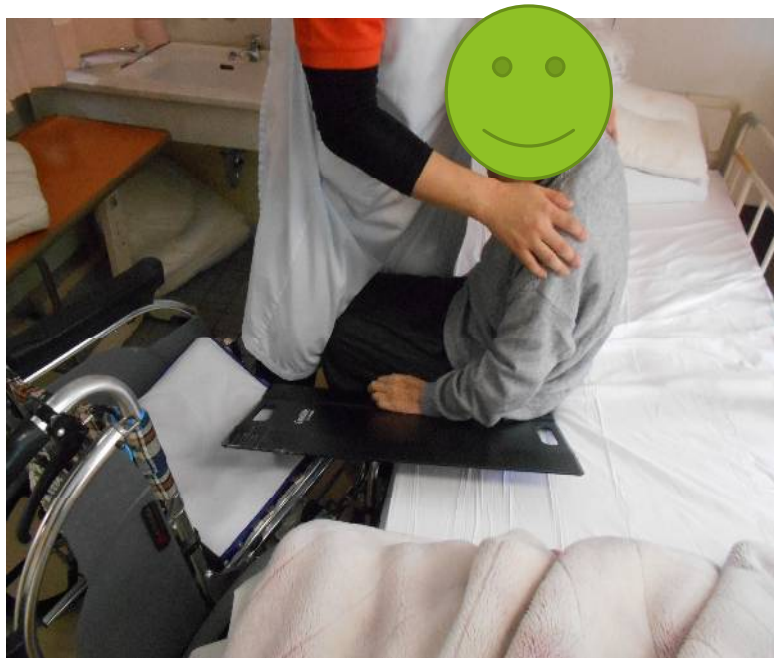
- ①左右に復返りをしてスリングシートを敷きこむ  
※脚分離玉の場合は足部分を交差する
- ②足からギャッジアップ
- ③リフトをベッドに差し込む
- ④リフトを下げ
- ※利用者の顔にリフトをあてないように
- ⑤スリングシートをリフトに引っ掛ける
- ⑥リフトを上げさせ、お尻が持ち上がる前に除圧
- ⑦リフトを上げ
- ⑧リフトを方向転換しベッドに対して平行に付ける  
※リフトの支柱や障害物に利用者の足を当てないように
- ⑨車椅子を配置する
- ⑩車椅子のブレーキをかける
- ⑪お尻が患面に設置する直前に正面から両手で膝を押し着座  
※利用者の顔にリフトをあてないように
- ⑫スリングシートを外す



デモ機で介護者・利用者双方の利益を実感し導入（リース）に繋がりました。

# 取り組み②-① 福祉用具の導入

イーグライドを使用しての  
利用者様毎の移乗マニュアル手順書です



〇〇 〇〇様 移乗マニュアル

ベッド ⇄ 普通型車椅子

- ①ベッドの高さを調整する ※座面が移乗する座面に対して少し高くなるように
- ②車椅子のフットレストを外す
- ③ベッドに対して出来るだけ角度をつけないように車椅子を近づける
- ④車椅子のブレーキをかける
- ⑤右側のアームレストを外す
- ⑥利用者の重心移動と共にスライディングボードを臀部に差し込む
- ⑦ボードが車椅子座面、ベッド上にしっかり位置しているか確認
- ⑧足の位置を調整 ※移乗側の足部をやや前に
- ⑨移乗の際介助者は足を大きく開き、自身の左右の重心移動を利用
- ⑩利用者の骨盤に手を当て臀部をボードの上を滑らせるように移乗する

※片方の手は体幹を支える



車椅子の環境を調整



足や腰が車椅子に当たるのを防ぎます





## 取り組み②-①

### 福祉用具導入一覧

★←補助金で購入したもの



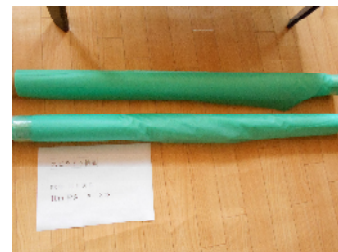
ラクラックス (入浴用)



リフト (3台)



★フレックスボード (1枚)



スピラドゥ



★スリングシート (2枚)



★移座えもんシート(12枚)



★クッション類



★床ずれナース (7枚)



★イージーグライド (1枚)



★ポジショニングシート



ターンテーブル

今年度は積極的に福祉用具導入に取り組みました。その作業では、補助金の有効活用にも気を配り、「本当に必要な物は何か」アドバイスをいただきながら発注は3回に分けました。

# 取り組み②-②

## 職員の意識調査中間アンケート実施

ノーリフティングケア導入に関するアンケート Ω新館 ◆ しんじゅ △ちりめん

平素より、ノーリフティングケア導入に向けご協力いただき、誠に有難うございます。  
ご多忙とは存じますが、アンケートにご協力をお願いいたします。

氏名

◆ 『愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業』に参加以降(令和3年11月現在)

1	導入の意味を理解できた。	<input type="checkbox"/> 理解できた <input type="checkbox"/> ほとんど理解できない	<input type="checkbox"/> まあまあ理解した <input type="checkbox"/> 理解できない
2	導入には前向きだ。やってみたい。	<input type="checkbox"/> 絶対に必要だ <input type="checkbox"/> あまりやりたくない	<input type="checkbox"/> やってみたい <input type="checkbox"/> やりたくない
3	6月以降、何らかの福祉用具を使用した。	<input type="checkbox"/> 使用した	<input type="checkbox"/> 使用していない
3-1	何の福祉用具を使用しましたか？ ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 移座えもんシート s <input type="checkbox"/> スピラドゥ <input type="checkbox"/> ターンテーブル <input type="checkbox"/> フレックスボード <input type="checkbox"/> リフト(デモ機)	
3-2	使用の頻度は？	<input type="checkbox"/> 必要な場面では殆ど <input type="checkbox"/> 日に( )回 <input type="checkbox"/> 週に( )回 <input type="checkbox"/> 全く使用していない	
4	介助時、ベッドの高さ調整をしていますか。	<input type="checkbox"/> その都度、している <input type="checkbox"/> まあまあしている。 <input type="checkbox"/> ほとんどしていない。 <input type="checkbox"/> 全くしていない	
5	腰や身体の負担が大きい場面は？ ※複数回答可 ※具体的な意見がある方は問9に記入して下さい。	<input type="checkbox"/> 移乗介助(車椅子⇄ベッド) <input type="checkbox"/> トイレ誘導(車椅子⇄トイレ) <input type="checkbox"/> 入浴介助(シャワーチェア、ストレッチャー移乗) <input type="checkbox"/> 排泄介助(ベッド上での交換) <input type="checkbox"/> その他( )	
6	福祉用具を利用するようになって、身体が楽になりましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> どちらかといえばそうだ	<input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> そうでもない
7	使用したい・導入してほしい福祉用具が、ありますか？ その福祉用具を教えてください。		
8	福祉用具を使用する際の不安やデメリット等があれば教えてください。		
9	問1, 問2で、「(ほとんど)理解できない」「(あまり)やりたくない」と答えられた方は、その理由を教えてください。		
10	【自由意見】 上記以外の事など、導入についての意見や感想があれば、ご記入ください。 ・勉強会の開催、施設見学希望など		

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 ノーリフティングケア推進委員会

**ノーリフティングケア委員とユニット主任が協同し、現場職員の忌憚のない意見を導き出し、施設の実情をまとめることができました！！**

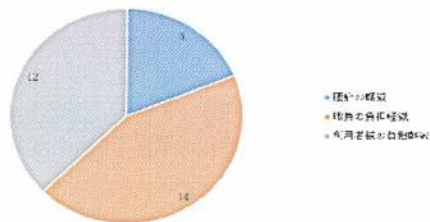
### うみG職員が思う

#### ノーリフティングケアのメリット・デメリット

##### ノーリフティングケアのメリット (複数回答可)

- ・職員の間腰予防、腰痛がなくなった。 5名
- ・職員の肉体的、身体負担がなくなった。 14名
- ・利用者の体の負担が軽減。 11名

#### ノーリフティングケアのメリット



その他・・・

- ・加齢が入らず、余裕があるので作業の時間も、利用者様とコミュニケーションが取れる。
- ・安全な介護(移乗)ができる。
- ・痛みを認知が大きく軽減され、利用者様も落ち着かれ安心してもらえる。

## 取り組み③-①

# 利用者様毎の移乗マニュアル手順書

### 〇〇〇 〇〇様 移乗マニュアル

#### ベッド ⇄ リクライニング

①必ず職員二人で介助をしましょう



- 手順 1・ベッド・ストレッチャーの高さと形状（角度）を合わせる。
- 手順 2・リクライニングのブレーキがかかっているか確認する。
- 手順 3・利用者さんを側臥位にし、フレックスボードを敷きこむ。
- 手順 4・腰をしっかり下ろし、足を開く。支持面積をしっかり確保する。  
（少ない力で移乗ができる）
- 手順 5・二人で声を掛けながら、移乗方向へスライドする。
- 手順 6・利用者さんを側臥位にし、ボードを抜き取る。
- 手順 7・利用者さんの姿勢の補正を行う。

上記の手順を必ず行ってください。

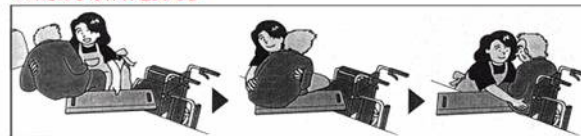
個別に移乗マニュアルを作成し、統一したケアができるよう取り組みました。

### 〇〇 〇〇様 移乗マニュアル

#### ベッド ⇄ 普通型車椅子

- ①ベッドの高さを調整する ※座面が移乗する座面に対して少し高くなるように
- ②車椅子のフットレストを外す
- ③ベッドに対して出来るだけ角度をつけないように車椅子を近づける
- ④車椅子のブレーキをかける
- ⑤右側のアームレストを外す
- ⑥利用者の重心移動と共にスライディングボードを臀部に差し込む
- ⑦ボードが車椅子座面、ベッド上にしっかり位置しているか確認
- ⑧足の位置を調整 ※移乗側の足をやや前に
- ⑨移乗の際介助者は足を大きく開き、自身の左右の重心移動を利用
- ⑩利用者の骨盤に手を当て臀部をボードの上を滑らせるように移乗する

※片方の手は体幹を支える



車椅子の環境を調整

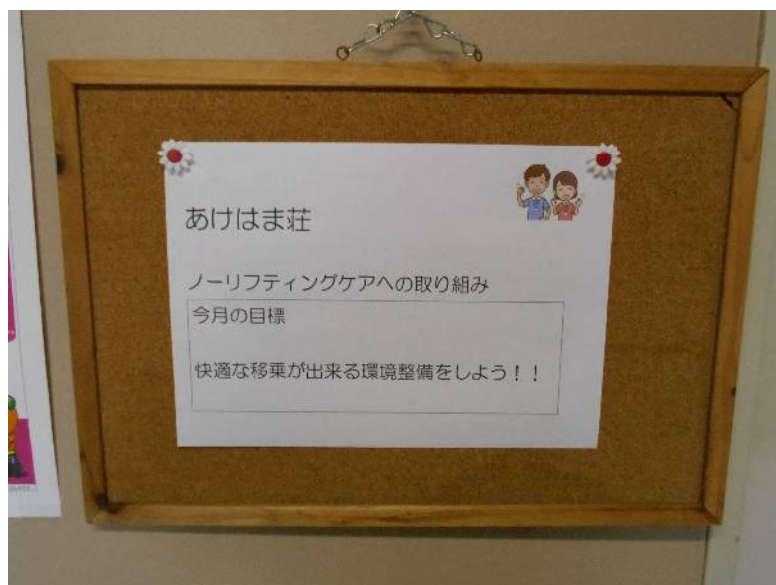


足や腰が車椅子に当たるのを防ぎます



## 取り組み③-②

各ユニット目標（毎月更新）



ポスターの掲示

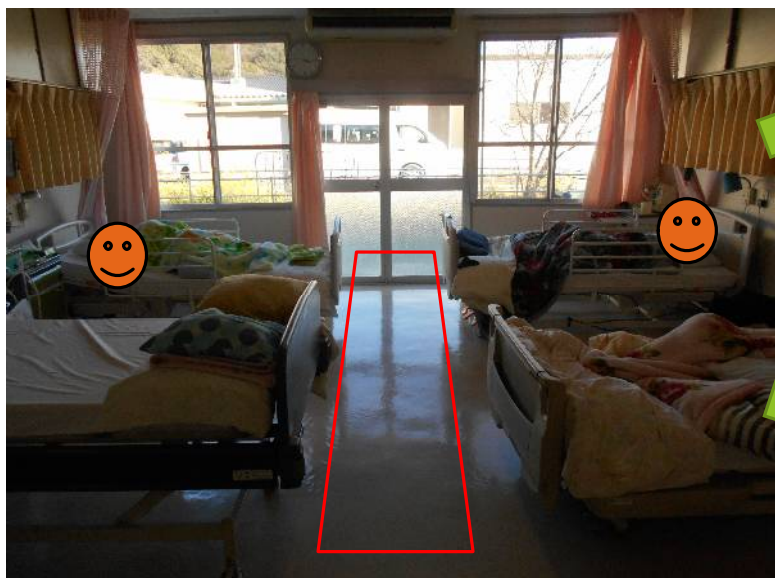


毎月ノーリフティングケア委員会開催時に各ユニット代表者が、今の進捗状況をもとに今後のノーリフティングケアの推進目標を定め「見える化」することで職員の意識向上に繋がりました。

## 取り組み③-③ 居室の環境整備

変更後

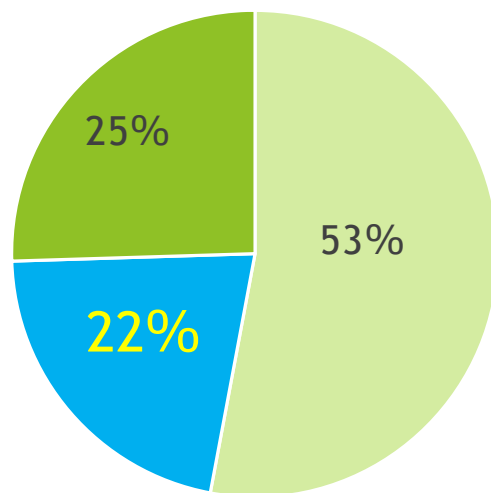
変更前



以前はリフトを使用する際に、ベッド間のスペースがあまりなく使用が困難でしたが、レイアウトを変更する事でリフトの使用がスムーズになりました。

## 導入後のアンケート①

いま現在、腰痛はありますか？

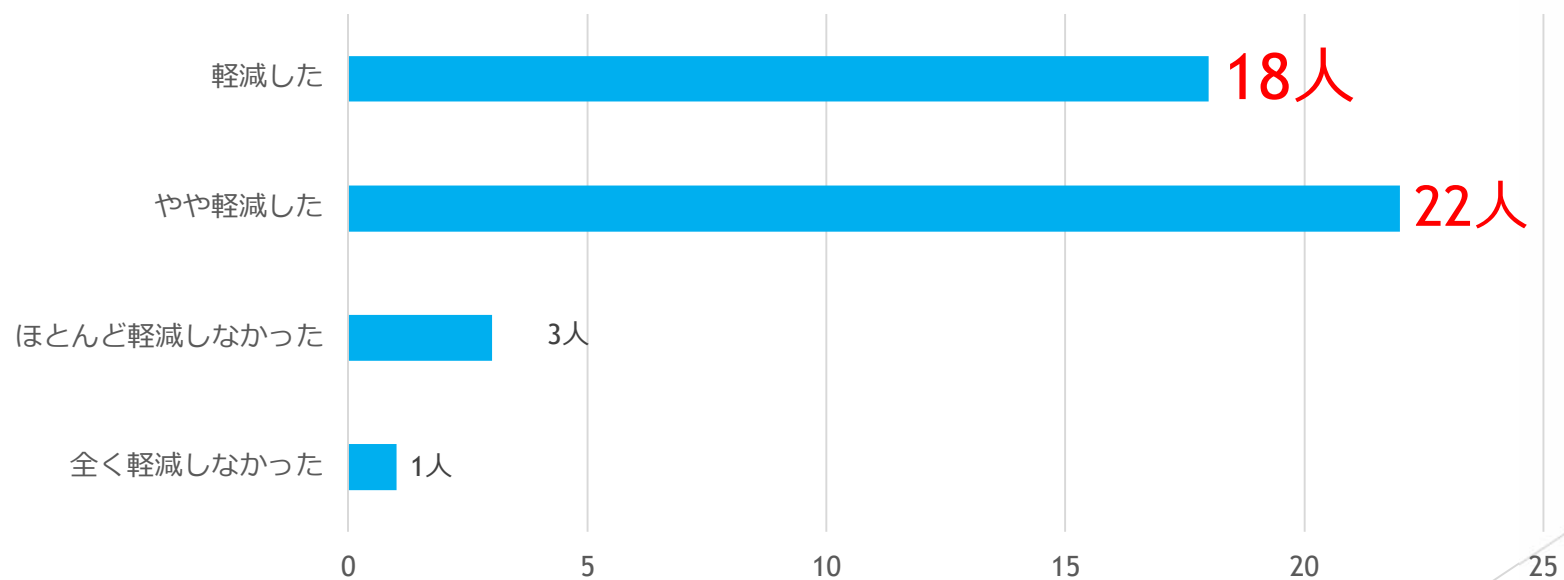


複数回答あり

■ なし ■ なし (導入前には腰痛歴あり) ■ あり

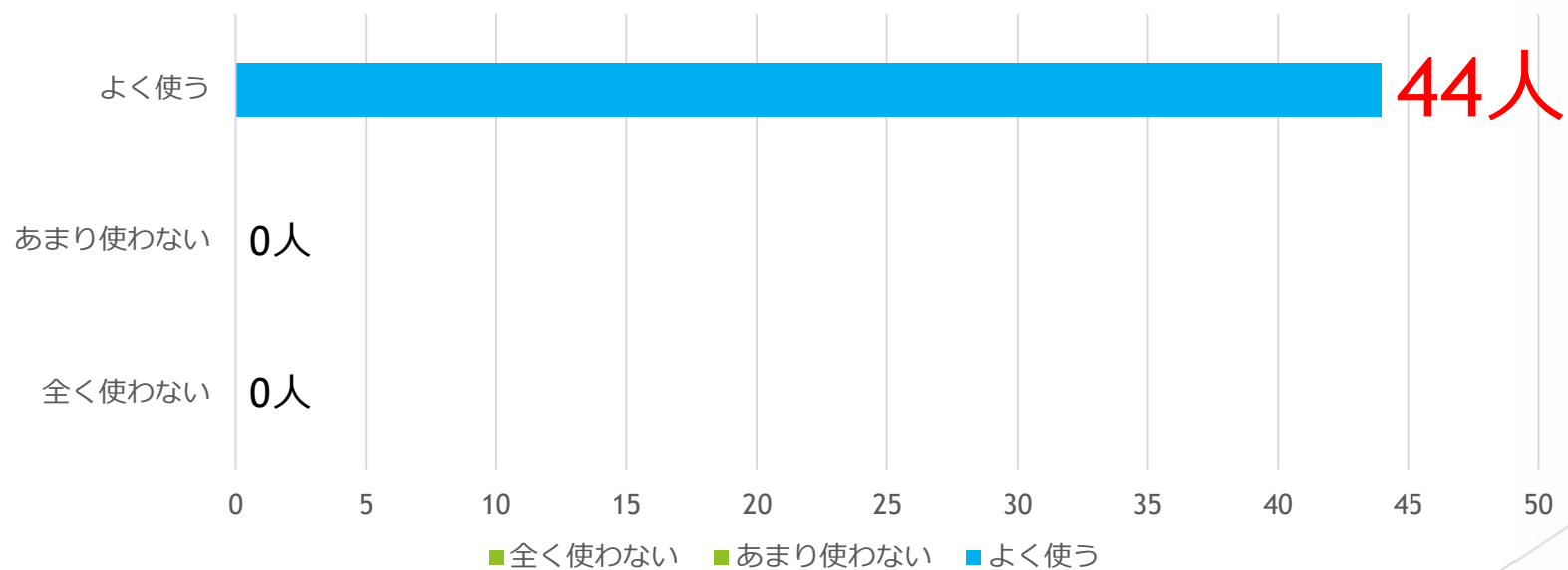
## 導入後のアンケート②

身体的負担は軽減しましたか？



## 導入後のアンケート③

導入した福祉用具・機器の利用状況





# ノーリフティングケアに取り組んでの意見。（独自アンケート）

- ▶ 身体的負担は軽減した。
- ▶ 取り組み始めて、コルセットは付けていない。
- ▶ 腰痛が改善した。
- ▶ 痛い部分はあるが、新しい部位の痛みが起こらなくなった。
- ▶ 移乗等負担に感じる事が少なくなった。
- ▶ 福祉用具も増えて前向きに取り組めるようになった。
- ▶ **介助時に、ご利用者様の表情が柔らかくなった。**
- ▶ リフトやボード等を使用する際、利用者に言葉かけをする場面・利用者に触れる場面が増えてきている。
- ▶ 家に帰ってから感じていた疲労が格段に減った。

## これからの課題

- ▶ ノーリフティングケアに対して、職員の知識がまだまだ足りていない部分がある。
- ▶ 研修等を行って、理解を深める事が必要。
- ▶ 個々の利用者に合わせたケアができるよう、協力し合って考えていく事が必要。
- ▶ より良いノーリフティングケアができるように、仕事の流れ（業務改善）を検討していく事が必要だと思う。
- ▶ 福祉用具を適切に使用できるように設備環境を整えていく事が必要。
- ▶ 今後も現場の意見を汲みながら必要な福祉用具を揃えていってほしい。

これからが大事！！

現状に満足する事なく、これ  
からもあけはま荘は走り続け  
ます！

ご清聴ありがとうございました。  
M( )M